

発議第9号

三重県立鳥羽高等学校の活性化に関する鳥羽市からの支援の充実を求める
決議の提出について

上記の決議案を別紙のとおり提出する。

平成30年12月21日 提出

平成30年12月 日

提出者 鳥羽市議会議員 坂倉 広子

賛成者 鳥羽市議会議員 奥村 敦

賛成者 鳥羽市議会議員 井村 行夫

賛成者 鳥羽市議会議員 戸上 健

賛成者 鳥羽市議会議員 坂倉 紀男

三重県立鳥羽高等学校の活性化に関する鳥羽市からの支援の充実を求める決議

三重県立鳥羽高等学校は、鳥羽市内で現存する唯一の三重県立の高等学校であり、創立107年を迎える歴史と伝統ある学校である。本校からの卒業生は、これまで約17,000人にも及ぶたくさんの卒業生が巣立ち、鳥羽市はもとより、県内外において様々な分野で活躍している。

現在は南勢地域の唯一の総合学科高校として地域に支えられ、本校で学ぶ生徒は明るく元気いっぱい日々の学習はもとより、運動部、文化部の活動や生徒会活動、ボランティア活動もそれぞれに頑張っており、全国高等学校観光選手権、観光甲子園に出場し好成績を獲得するなど、特色ある教育活動を展開している。

また、スポーツ面においてもフェンシング、レスリング競技などにおいて、世界レベルの選手を輩出するなど、スポーツ面での貢献も顕著である。

このような中で鳥羽高等学校は、現在、絶対的な少子化や地元生徒の鳥羽離れの傾向にあり、毎年、定員割れが続く状況になっている。

三重県教育委員会では、平成29年3月に「県立高等学校活性化計画」を発表し、本計画の中で、平成31年度は活性化取組期間の最終年度となっており、一定の評価や方向性が検討される状況の中で、活性化に向けた更なる取り組みが急務となっている。

よって、本市議会は、鳥羽高等学校が本市の三重県立高校としてあり続けられるよう、本校の更なる活性化に向けた取り組みを強く要望する。

以上、決議する。

平成30年12月21日

三重県鳥羽市議会